

(別記)

## 令和5年度川上村農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

### 1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

川上村はレタスや白菜などの高原野菜の生産を基幹産業としている。農業従事者の平均年齢は比較的若く、農業後継者も定着しているが、人口減少に伴い販売農家戸数は徐々に減少している。

しかしながら、農家1戸当たりの経営規模拡大によって耕作面積は増加傾向にあり、安定した農業経営が行われている。このことから、レタスなどの高原野菜生産のさらなる振興を図り、消費者のニーズに応え得る産地としての取り組みが重要であると考えている。

### 2 高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

野菜の価格は相場に左右されるため、毎年野菜価格の変動に苦慮している。このため、収益を得られるだけの安定した価格を維持するため、川上村では、行政と農協、農家が一体となって、川上村産の野菜のブランド化を図っていく。川上村産の野菜が高品質であることを幅広く周知するとともに、野菜生食以外の野菜の活用方法を提起し、新たな需要の掘り起こしを行うなどの方法によって収益性の向上を目指す。

### 3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

川上村の冷涼な気候では水稲の作付けが難しく水田での畑作物の作付けが主流となっており、地域におけるブロックローテーション体系の構築も困難なことから、令和5年度から畑地化の導入に取り組む。

また、取り組みにあたって、農業再生協議会及びJA等の関係団体と連携して対象水田の現地確認を実施しており、近年畑作物のみを生産し続けている水田や、今後も水稲作に活用される見込みがない水田等を精査していく。

### 4 作物ごとの取組方針等

- (1) 主食用米  
作付けなし
- (2) 備蓄米  
作付けなし
- (3) 非主食用米
  - ア 飼料用米  
作付けなし
  - イ 米粉用米  
作付けなし
  - ウ 新市場開拓用米  
作付けなし
  - エ WCS用稲  
作付けなし
  - オ 加工用米

作付けなし

(4) 麦、大豆、飼料作物

作付けなし

(5) そば、なたね

作付けなし

(6) 地力増進作物

作付けなし

(7) 高収益作物

水田のほとんどで野菜生産が行われており、特に主要作物のレタスは、市場のニーズが高いことから、令和5年度に畑地化し、作付面積の維持・拡大を図る。

その他野菜（白菜やキャベツ、ブロッコリーやカリフラワーなど）についても、畑地化した水田において作付面積の維持を図りながら、生産振興に努める。

## 5 作物ごとの作付予定面積等

～

## 8 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※ 農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

## 5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和5年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	0	0	0	0	0	0
備蓄米	0	0	0	0	0	0
飼料用米	0	0	0	0	0	0
米粉用米	0	0	0	0	0	0
新市場開拓用米	0	0	0	0	0	0
WCS用稲	0	0	0	0	0	0
加工用米	0	0	0	0	0	0
麦	0	0	0	0	0	0
大豆	0	0	0	0	0	0
飼料作物	0	0	0	0	0	0
・子実用とうもろこし	0	0	0	0	0	0
そば	0	0	0	0	0	0
なたね	0	0	0	0	0	0
地力増進作物	0	0	0	0	0	0
高収益作物	20.85	0	5	0	5	0
・野菜	19.46	0	4	0	4	0
・花き・花木	0	0	0	0	0	0
・果樹	0	0	0	0	0	0
・その他の高収益作物	1.39	0	1	0	1	0
その他	0	0	0	0	0	0
・〇〇	0	0	0	0	0	0
畑地化	0	0	20.85	0	20.85	0

## 6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	レタス【基幹作物】	ニーズの高い作物生産	作付け面積の維持・拡大 (ha)	(令和4年度) 19.46	(令和4年度) 20.43 (令和5年度) 4.00
2	その他野菜（別紙一覧） 【基幹作物】	地域振興作物への助成	作付け面積の維持・拡大 (ha)	(令和4年度) 1.39	(令和4年度) 2.65 (令和5年度) 1.00
3					

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:長野県

協議会名:川上村農業再生協議会

整理番号	用途 ※1	作期等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	ニーズの高い作物生産	1	10,000	レタス【基幹作物】	助成対象者が助成対象水田において、販売目的でレタスを作付けした場合に助成する。
2	地域振興作物への助成	1	10,000	その他野菜(別紙一覧)【基幹作物】	助成対象者が助成対象水田において、販売目的でその他野菜を作付けした場合に助成する。なお、アスパラガスの新植本年度に収穫、出荷できない場合も通常の肥培管理が行われた場合に助成する。

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的な要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

作物コード

野菜		
独自	共通	
100		
101		ハクサイ
102		キャベツ
103		ブロッコリー
104		カリフラワー
105		ほうれんそう
106		セルリー
107		タアサイ
108		チンゲンサイ
109		みずな
110		スイートコーン
111		ズッキーニ
112		かぶ
113		ごぼう
114		ながいも
115		いちご
116		アスパラガス
117		パセリ
118		みぶな
119		エンドウ
120		インゲン
121		ねぎ
500		にんにく